

OPINION

ナビゲーター

大統領2期目を務めるドナルド・J・トランプ氏は34件の有罪判決を受けた重罪犯で、数億米ドルの損害賠償判決を受けています。前任期中に2度の弾劾手続きを経験し、保有事業で複数回の破産を申請し、有権者に対して継続的に虚偽を繰り返してきました。

た。大統領職を自身の「リアリティTV」の延長線上に位置づけ、交流サイト(SNS)「トゥルース・ソーシャル」プラットフォームを通して国家統治に関する見解を日々発信しています。

SNSの利用は、故人で性犯罪者のエプスタインとの不

日本への期待 世界各地から

其
155

トランプ大統領の実態と日本への期待

適切な関係から世論を「そらす」試みであり、選挙中に公約した、おそらく幼児性愛者であるトランプ氏自身の関与に関わる情報公開を遅らせる手段、と多数は見えています。政権の失敗を「白塗り」するキヤンペーンの一環としては、ノーベル平和賞受賞への期待や自身の肖像をサウスダコタ州ラシュモア山に刻む計画が挙げられます。

権力の乱用だと思いますが、2021年1月6日に政府転覆を試みた罪で有罪判決を受けた全員を釈放しまし

アメリカ・ハワイから(下)

た。行政機関を管理するのに「不適格」な政治的同志や支持者たちを政府に任用しました。例えばロバート・ケネディJrです。その結果、政権は「大統領が望むことは何でも」実行することになりかねません。

プロジェクト2025という、ヘリテージ財団によつて構築された政府統治の全体構想があり、トランプ氏はそれに追隨してきました。絶え間なく一連の大統領による行政権の乱用で、従来の政治的な手順や、下院や上院による審査を回避してきました。大統領の次席補佐官であるスティーブン・ミラーです。彼の全面的な協力で政権は下院、上院、連邦裁判所、最高裁判所を掌握しており、異議や上訴があっても、あらゆる法案を「確実に」成立させることができます。

究極の目標は連邦政府を縮小し、政策と人事(とそれによる行政コスト)の対比に重点を置き、LGBTQ社会や「アンティファ」のような目覚めた集団を含むグループを訴追することです。遂行にあつた中心人物は政権で計画の実施責任者で、トランプ

性首相となり、優れた経済的背景と保守的な姿勢を持つと聞きます。日本の課題解決にあたり、高市首相は世代交代、文化的価値観の変化への対応、そして国際的に「日本の同盟国と敵対国はどこか」を明確にする必要があるのではないのでしょうか。

米国は日本に対する従来の役割を維持するとは限らず、基本的に日本に対し自国の利益は自分で守るよう迫っています。新たな課題に対処するには、変化と希望を体現する高市氏が最善の人材であると私は信じています。

【フライアン・モリキ、リム中産連】
(月曜日に掲載)